

# 令和元年度 上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会次第

日 時：令和元年 5 月 30 日（木）

午後 7 時～8 時 30 分

会 場：上越市市民プラザ 第一会議室

## 1 開 会

## 2 委嘱状交付

## 3 挨拶

## 4 議 事

(1) 平成 30 年度の専門部会の取組報告及び令和元年度の取組方針について

- ①入退院時支援部会
- ②多職種連携推進・研修部会
- ③ I C T 連携部会
- ④普及啓発部会

(2) 平成 30 年度の上越地域在宅医療推進センターの取組報告及び令和元年度の取組方針について

## 5 その他

## 6 閉 会

上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会 名簿

<委員>

(順不同・敬称略)

所 属	役 職	氏 名	備考
上越医師会	会長	◎早津 正文	欠席
新潟県立中央病院	院長	長谷川 正樹	
上越歯科医師会	会長	原 省司	
上越薬剤師会	会長	吉澤 光弘	
上越地域在宅医療推進センター	センター長	揚石 義夫	
上越地域在宅医療推進センター	コーディネーター	相澤 由美子	
上越地域在宅医療推進センター	コーディネーター	浅野 広美	新
上越地域医療センター病院	看護部長	○藤本 智恵	新
新潟県立妙高病院	看護部長	筑山 芳江	
高田西城病院認知症疾患医療センター	センター長	森橋 恵子	
新潟県老人福祉施設協議会	第5ブロック長	石田 浩二	欠席
新潟県理学療法士会	代表	早津 敏彦	
新潟県栄養士会上越支部	新潟県栄養士会委員	大平 真由美	
上越地域居宅介護支援事業推進協議会	現会長 (～5月31日)	横田 麻理子	
	新会長 (6月1日～)	石田 さとみ	新
上越地区訪問看護ステーション連絡会	テンドー上越管理者	渡辺 久枝	
上越地域振興局健康福祉環境部	地域保健課長	飯塚 俊子	

◎会長 ○副会長

<事務局>

所 属	役 職	氏 名
妙高市 福祉介護課	課長	岡田 雅美
	課長補佐	松原 久子
	地域包括支援係長	保坂 あかね
	主査(保健師)	長谷川 美代
	主査(保健師)	岡田 尚子
	主査(社会福祉士)	原田 浩成
上越市 健康福祉部	健康福祉部長	大山 仁
上越市 健康福祉部 すこやかなくらし包括支援センター	所長	渡辺 晶恵
	次長	南雲 一弘
	副所長	柳澤 明美
	保健師長	佐藤 麻由子
	保健師長	長澤 由美
	主任(社会福祉士)	坪井 裕章
	社会福祉士	岩井 美晴

## ○実務担当者合同会議委員(19人)

(順不同・敬称略)

No.	所属	役職	氏名	備考
1	上越地域在宅医療推進センター	センター長	揚石 義夫	
2	上越歯科医師会在宅歯科医療連携室	室長	青山 隆一	
3	上越薬剤師会	副会長	押山 貴光	
4	訪問看護ステーションテンダー上越	管理者	渡辺 久枝	
5	上越地域居宅介護支援事業推進協議会	新会長(6月1日～)	石田 さとみ	
6	新潟県栄養士会上越支部	管理栄養士	星野 ハツ子	
7	上越地域振興局健康福祉環境部	保健師	北村 悠加里	
8	上越地域在宅医療推進センター	コーディネーター	相澤 由美子	
9	上越地域在宅医療推進センター	コーディネーター	浅野 広美	
10	上越地域医療センター病院	社会福祉士	宮川 玲	
11	新潟県立妙高病院	看護部長	筑山 芳江	
12	知命堂病院訪問看護ステーション	管理者	植木 光代	入退院時支援部会部会長
13	新潟県立中央病院	主任理学療法士	早津 敏彦	入退院時支援部会副部会長
14	ふもと地域包括支援センター	管理者	清水 知美	多職種連携推進・研修部会部会長
15	訪問看護ステーションリボン	管理者	山田 玲子	多職種連携推進・研修部会副部会長
16	上越地域居宅介護支援事業推進協議会	現会長(～5月31日)	横田 麻理子	ICT連携部会部会長
17	㈱リボン	業務部長	江口 義幸	ICT連携部会副部会長
18	高田西城病院認知症疾患医療センター	センター長	森橋 恵子	普及啓発部会部会長
19	新潟県栄養士会上越支部	管理栄養士	川田 智美	普及啓発部会副部会長

## ○専門部会

## 入退院時支援部会(6人)

No.	所属	役職	氏名	備考
1	知命堂病院訪問看護ステーション	管理者	植木 光代	部会長
2	新潟県立中央病院	主任理学療法士	早津 敏彦	副部会長
3	上越地域居宅介護支援事業推進協議会	副会長	山崎 弘子	
4	かなざわ内科クリニック	院長(上越医師会理事)	金澤 貴	
5	新潟労災病院地域医療連携室	医療ソーシャルワーカー	中澤 康平	
6	けいなん総合病院ソーシャルワーク科	医療ソーシャルワーカー	齋藤 謙	

## 多職種連携推進・研修部会(6人)

No.	所属	役職	氏名	備考
1	ふもと地域包括支援センター	管理者	清水 知美	部会長
2	訪問看護ステーションリボン	管理者	山田 玲子	副部会長
3	内山医院	院長(上越医師会理事)	内山 一晃	
4	羽尾医院	院長	羽尾 和久	
5	上越薬剤師会	理事	吉村 敏樹	
6	新潟県立中央病院地域連携センター	副看護師長	池田 美津子	

## ICT連携部会(6人)

No.	所属	役職	氏名	備考
1	上越地域居宅介護支援事業推進協議会	現会長(～5月31日)	横田 麻理子	部会長
2	㈱リボン	業務部長	江口 義幸	副部会長
3	揚石医院 内科小児科循環器科	院長(上越医師会理事)	揚石 義夫	
4	藤原医院	院長	藤原 敬人	
5	特別養護老人ホーム国ねやまの里	施設長	石田 浩二	
6	上越市社会福祉協議会介護サービス課	統計・給付係長	太田 博文	

## 普及啓発部会(7人)

No.	所属	役職	氏名	備考
1	高田西城病院認知症疾患医療センター	センター長	森橋 恵子	部会長
2	新潟県栄養士会上越支部	管理栄養士	川田 智美	副部会長
3	いがらし整形外科	院長(上越医師会理事)	五十嵐 靖雄	
4	清華ファミリークリニック	院長	渡辺 裕美	
5	上越歯科医師会在宅歯科医療連携室	副室長	坂本 廣一朗	
6	上越薬剤師会	理事	柴又 良太	
7	上越地域居宅介護支援事業推進協議会	副会長	齊藤 拓志	

# 平成 30 年度 上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会 各部会の取組のまとめ（平成 30 年度実績・令和元年度事業計画）

部会名	平成 30 年度		令和元年度
	目標及び方針（Plan）	取組（Do）及び成果・評価（Check）	計画（Action）
入退院時支援部会	<p><b>【目標】</b> 既存の「ケアマネジャーと病院の連携ガイドライン」を多職種連携の視点を入れたガイドラインに見直し、スムーズな入退院時支援を目指す。</p> <p><b>【方針】</b> ・連携ガイドライン、訪問看護チェックリストの周知活用 ・連携状況を評価するための指標を設定</p>	<p><b>【取組内容】</b> ・ケアマネジャーと病院の連携ガイドライン及び連携フロー図をがんぎネットへ掲載し、運用開始（9月） ・入退院時支援のためのルールやツールについての研修会を開催（10/19）参加者 110 名（CM78、包括 17、連携室 15 名）</p> <p><b>【成果】</b> ・入退院支援のためのルールやツールについて、病院とケアマネジャーの間で、共通理解を図ることができた。 ・ケアマネジャーは、3 年前と比較すると病院窓口の明確化や連携体制が向上したと感じ、連携件数の増加につながっている。 ・退院後の在宅医療提供体制が進展したと感じている。</p>	<p><b>【方針】</b> ・入退院時の連携ガイドラインを、多職種連携の視点を入れて見直し、スムーズな入退院支援を目指す。</p> <p><b>【取組予定】</b> ・ケアマネジャーと病院の連携ガイドライン及び連携フロー図の運用について実態把握と見直し ・ケアマネジャー、地域包括支援センター、病院連携室・担当者を対象とした入退院時の連携に関する研修会を開催（2～3 会場・エリア単位） ・精神科病院と地域との連携についての状況把握、研修会または意見交換会を開催 ・訪問看護導入チェックリストを活用した連携についての検討</p>
多職種連携推進 ・研修部会	<p><b>【目標】</b> 多職種が連携して、対象者の生活を支えるために、退院前カンファレンス、担当者会議などを円滑に行うことができるようになることを目指す。</p> <p><b>【方針】</b> ・H29 年度の研修受講者へのアンケート調査による連携実施状況の把握 ・アンケート結果を踏まえた研修時期・研修内容の検討 ・研修会を開催し、新規の多職種リーダーの養成 ・多職種連携を図るための機会の検討</p>	<p><b>【取組内容】</b> ・H29 年度研修受講者へのアンケートを集計・分析し、研修内容に反映 ・研修会の開催（年 3 回） 第 1 回：9/28「地域連携連絡票について学ぶ」28 名 第 2 回：10/26「退院前カンファレンスについて学ぶ」24 名 第 3 回：12/7「在宅サービス担当者会議について学ぶ」25 名</p> <p><b>【成果】</b> ・多職種のリーダー 30 名を養成 ・地域連携連絡票の活用方法の理解が進んだ</p>	<p><b>【方針】</b> ・多職種が連携し、在宅生活を継続していくための連携ツールとして地域連携連絡票を活用する</p> <p><b>【取組予定】</b> ・新規の多職種リーダー 30 名を養成する ・多職種リーダーが活躍できる場や機会について検討する。 ・「ケアマネジャーと病院の連携ガイドライン」や「MC ネット」を活用した多職種連携の推進を目指して、他の部会と連携した活動を検討する ・地域連携連絡票の作成方法（ケアマネジャー以外の職種の関わり）を検討する</p>
ICT 連携部会	<p><b>【目標】</b> 上越・妙高地域の連携標準ツールとなる ・地域包括支援センター加入率 100%を目指す ・居宅介護支援事業所加入率 80%を目指す</p> <p><b>【方針】</b> ・MC ネットを知ってもらおう（MC ネット塾開催、MC ネット活用塾、MC ネットかわらばん発行） ・使いはじめやすいツールにする（本人家族向けリーフレット作成） ・使ってもらえるツールにする（活用塾、訪問看護での活用）</p>	<p><b>【取組内容】</b> ・MC ネット塾の開催（年 10 回：H30. 5～H31. 2）83 人参加 ・MC ネットかわらばんの発行（年 4 回） ・本人・家族向けリーフレットの作成、運用開始 H30 年 7 月～ ・MC ネット活用塾の開催（8/29）参加者 28 名 ・ケアマネジャーや訪問看護事業所への啓発</p> <p><b>【成果】</b> 上越市妙高市の事業所加入率と端末の変化（H30. 5⇒H30 年度末） ・地域包括支援センター加入率（38. 1%⇒91. 7%） ・居宅介護支援事業所加入率（46. 5%⇒64. 0%） ・訪問看護事業所加入率（85. 7%⇒92. 9%） ・MC ネット加入端末数 369 端末（29 年度）⇒599 端末（H30 年度） ・評価アンケート結果から、部会の取組は適切で効果はあったが、MC ネットの有効活用にはまだ十分にはつながっていなかった</p>	<p><b>【方針】</b> ・MC ネット加入率向上（居宅介護支援事業所、医療機関を中心に） ・MC ネット活用の質の向上 ・運用上の課題解決（セキュリティ、削除などのルール、異動に伴う変更等）</p> <p><b>【取組予定】</b> ・MC ネット活用塾の開催 ・他の部会との連携（地域連携連絡票をMC ネット上で作成する） ・活用状況の定量的な評価指標の検討 ・セキュリティ対策 ・MC ネット利用時のルールの徹底</p>
普及啓発部会	<p><b>【目標】</b> ・医療・介護が必要になっても、在宅で支援を受けながら生活することや、在宅生活の良さについて知る機会とし、在宅支援に関する普及啓発を目指す。</p> <p><b>【方針】</b> ・普及啓発用スライドを作成する ・市民に対して啓発を実施する ・啓発実施後の意識の変化を図るもの（アンケート）について検討する 配属</p>	<p><b>【取組内容】</b> ・普及啓発用スライドの作成と活用 ・普及啓発講座開催 10/30「すこやかに老いるための市民講座」 10/31「在宅介護を応援するカフェ」</p> <p>・講座参加者用アンケートの作成と実施</p> <p><b>【成果】</b> ・部会で作成したスライドを市民向け講座で活用できた ・講座の参加者のうち 9 割が「在宅医療や介護が必要になった時に備えて、家族や周りの人と話し合いたい」と回答した ・講座参加者は、今後もし医療や介護が必要になったらどうするかを自分の事としてイメージすることができた</p>	<p><b>【方針】</b> ・医療・介護が必要になっても、在宅で支援を受けながら生活することや、在宅生活の良さについて知る機会とし、在宅支援に関する普及啓発を行う。</p> <p><b>【取組予定】</b> ・普及啓発用スライドの活用 ①各市の市民向け講座で活用する ②職能団体内および職能団体が行う市民向け啓発講座で活用 ・普及啓発用スライドを「がんぎネット」にアップし活用を促進 ・講座後のアンケート結果に基づき、啓発活動の方向性を検討</p>

# 令和元年度 上越地域在宅医療推進センター事業計画

事業内容	項目	課題	P計画	目標値
医療提供体制のコーディネート事業 (ア)	①医療・介護資源の把握	在宅医療マップの最新情報掲載体制	・医療マップ関連の専門職団体と連携し情報提供について検討する ・訪看提供体制の定期調査(14事業所)	体制構築
	②MCネット(情報共有ICT)の普及推進	・診療所・病院の加入 ・MCネットの活用の評価 (評価指標:情報共有対象者数)	・ICT部会と協働し活用塾開催 ・新規事業者の加入促進を図る ・地域ケア会議に参加しMCネットに関する情報の収集と提供。 ・訪問説明・個別説明を実施	診療所・病院各1件以上の加入
	③専門職団体の活動支援	・包括を中心にした地域づくりと研修会の地域別開催	・専門職企画研修会の支援(やわ会舎) ・地域包括支援センターとの懇話会(年間活動の見える化と公開) ・薬剤師会との懇話会 ・部会企画研修会の支援	1回以上 2回/年 1~2回/年 1回以上
	④ホームページグループウェア機能の普及促進	MCネット加入CMの会員ページ登録と活用促進	MCネットとがんぎネット「ホームページ」「会員ページ」の役割・システムの違いを見える化し周知する	がんぎネットだより作成3回/年 CM:会員登録100%
	⑤相談対応	相談の迅速な対応 コーディネート事業の評価(数値化)	・医療・介護関係者からの相談に対応する ・センターの役割(相談窓口)の周知を図る	適宜
運営会議等の開催 (イ)	①在宅医療推進センター運営会議	定期開催継続 他職種の参加検討	毎月第3木曜日午後(年12回)1時間程度、センター内で実施する センター長、コーディネーター、総務課職員、訪看、CM、妙高市、上越市、地域振興局、 <b>栄養士会が新たに参加</b>	12回/年 開催
	②臨時センター会議		センター長が必要と認めた場合、招集する	必要時
在宅医療の普及啓発活動 (ウ)	ホームページでの情報提供	がんぎネットの活用促進 MCネットとの混同防止	がんぎネットだよりの作成と配布(ア)の④同様 情報収集と情報発信 活用促進の広報活動	情報掲載 150件以上 アクセス数8000件以上
人材育成 (エ)	研修会の開催	地域包括エリアでの地域別開催	薬剤師会とCM協議会の連携研修会を企画する(板倉と中郷包括、清里と三和包括合同研修会の予定)	2件
その他 (オ)	栄養ケアステーションの運営支援	薬剤師会支部内での活動周知	定期的な情報共有 ケアステーションの周知支援	随時